

北海道学生サッカー連盟50周年記念事業

北海道学生サッカー連盟所属学生と札幌市内小学生とのサッカー交流

報告

2025. 8. 7 グラスルーツ事業部会

（一社）札幌地区サッカー協会「グラスルーツ事業部会」では、種別や委員会の壁を越え、サッカーの普及、サッカーファミリーの拡大に向けたコラボレーション企画を実践して行きたいと取り組んでいるところです。そうした思いに、北海道学生サッカー連盟が共感してくださり、標記事業を行うこととなりました。学生サッカー連盟としては、「サッカー活動だけでなく、社会貢献及び地域貢献活動に進んで関わる」という、全日本大学サッカー連盟宣言を受けてのサッカーを通じた社会貢献や普及活動の一環でもあったようです。

7月13日（土）「総理大臣杯全日本学生サッカートーナメント北海道大会決勝」の前に学生約40名、小学生約60名、総勢約100人が札幌サッカーアミューズメントパーク天然芝グラウンドに一堂に集まり、晴天の下、



小学生6名+大学生2名で構成された8名VS8名のゲーム（人数調整を行いながらでしたが・・・）を楽しみました。監督は、学生サッカー連盟のスタッフが務めてくれました。8チームに分けてのリーグ戦を行い、リーグ戦の順位で最終的には順位決定戦を行うというイベントでした。



参加してくれた学生の声から・・・

- 小学生のうちから大学生とサッカーなどの交流をすることで、小学生たちのレベルアップにも繋がるし、大学生もアウトプットとして小学生に教えることができるのでお互いのレベルアップに繋がると思いました。
- 小学生とのサッカーをする機会はそれほど多くなく、このような機会があり交流ができたことが嬉しく思います。この経験を活かして今後、小学生にサッカーの楽しさを少しでも多く広げて行けたらいいなと思います。

今回、北海道学生サッカー連盟および（一社）札幌地区サッカー協会：高木真一 1種（大学）委員長の発案、お声掛けで実現した本事業。参加してくれた4種の選手にとっては、目標や憧れを抱くよい機会になったはずです。また、大学生のみなさんもこれを機会に、将来指導者や運営サイド、イベントボランティアとしてご協力をいただけると、本協会としても大変うれしく思います。

御協力いただきましたみなさん、御参加いただいたみなさんには、心よりお礼申し上げます。

本協会としては、引き続きこうした事業を通して、サッカーの楽しさを多くの方に伝えていきたいと考えています。



北海道学生サッカー連盟の50周年に対して心よりお祝い申し上げます！